

犬の健康用品 病院に的

ダイヤ工業、マットやコルセット拡販

コルセットやサポーターを製造・販売するダイヤ工業（岡山市）は動物病院向けの販路を本格開拓する。既存の犬用サポーターに加え、洗濯や消毒の手間をとらず犬用のケージ（おり）で使えるマットを開発した。ペットの健康に対する飼い主の関心が高まる中、これまで培った技術を生かして新商品を開発。取引先の動物病院数を5倍の5千軒に増やす計画だ。

ダイヤ工業は人の腰痛治療などに使うコルセットやサポーターを整得院

取引先5倍 5000軒めざす

用には人用
素材は同
マットと
サポーター
ケージ用
採用了た

などに販売している。2015年4月から「anifull（アニフル）」のブランド名で犬用商品を展開し、犬の腰を支えるコルセット、足首に巻き付けるサポーターなど12品目を扱う。新商品として、犬を取

容するケージの内部に敷くマットを発売した。人用のサポーターと同じく発泡ポリエチレン樹脂を使って粘性や気密性を高め、犬がかんだり、ひっかいたりしても破れにくくした。底部の堅さや冷たさを和らげられる。犬用ケージでは大量のタオルや介護向けクッションを使うことが多く、

「アニフル」ブランドでは17年4月、金属プレートなどで固定力を高めた犬用コルセット「わんコル」の新製品を追加した。飼い主向けの商品も展開。姿勢良く犬と散歩できるような腰に巻く骨盤固定ベルトを18年2月に発売した。小物を入れられるポーチを一体化しており、見た目や使い勝手

にも配慮した。現在では全国約1万軒あ

る動物病院のうち1千軒程度と取引しており、販売だけでなく、商品開発にも獣医らの意見を反映している。19年春までに取引先を5千軒に増やし、より多くの声を現場から取り入れる。

ダイヤ工業は1963年設立。18年3月期の売上高は40億円程度の見込みで、うち犬用商品の部門は3千万円程度にとどまる。まず19年3月期に5倍超となる1億6千万円を目指し、その後は事業部化も視野に入れる。犬の健康に気を配る飼い主は増えているが、椎間板ヘルニアなどの関節疾患は見た目で気付きにくい。健康を支えるサポーターなどの需要は大きいと、ダイヤ工業はみている。大型犬向けや膝・肘用のサポーターなどオーダーメイド品を中心に開発を進める。



散歩時に小物を入れられるようポーチと一体化した腰用骨盤ベルト

現在では全国約1万軒あ